― 農の雇用事業による取組事例 ―

秋田県秋田市　東北バルブ株式会社

人材育成
労働条件・環境整備

- 令和3年10月末研修終了した研修生が、農業経験5年経過したことで今後研修指導者になり指導を予定。
- 従業員の「気づき」から品質アップ、収量アップにつなげる。
- 希望休をとれるシフト制の導入やトイレを男女別水洗式へ改修し、働きやすい労働条件や環境を整備。

東北バルブ(株)(農業部門)の概要

【設立】令和2年4月
【代表者】代表取締役　脇屋　憲一
【売上】3,000万円(令和2年度)
【事業内容】菌床シイタケ、菌床キクラゲ
【経営面積】菌床シイタケ　ハウス2棟
　菌床キクラゲ　ハウス1棟
【主要取引先】JA、生活協同組合、地元スーパー
【従業員数】正社員　6人
【所在地】仁井田事業所:秋田県秋田市仁井田
　小中島70－6
【会社の特徴】県農業試験場跡地で、ハウス内温度の調整に地下水熱を活用し菌床シイタケを栽培

研修生を「栽培担当者(2年目)→栽培責任者(5年目)→現場管理者(10年目)」へ育成

【研修内容】

・研修1年目は、菌床シイタケの散水・浸水・芽欠・収穫・選別等や菌床キクラゲの収穫・販売準備等の各種作業を行い、栽培担当者としての技術やノウハウを習得します。

・研修2年目は、気温の変化やハウス内の状況等のわずかな変化に気づき、ハウス内環境の調整・管理全般や収穫適期の判断も行い、よりレベルの高い栽培管理の技術を習得します。

【人材育成の方針】

・現在の研修生に対して、「5年後、責任者として栽培を任せられる人材」や「10年後、経営者とともに栽培管理全般を考えられる現場管理者」に育ってほしいと考え指導しています。

・研修生と笑顔でコミュニケーションがとれる間柄をつくり、自発的な「報告・連絡・相談」や「成育状況やハウス内環境等の変化への気づき」を大切にするよう指導しています。

【具体的な取組内容】

・従業員各自が「高品質、高収量」という意識を持ち、自発的に作業の合間での確認や指摘を行い、連携して作業しています。

・「菌床の浸水時間は2時間」等と作業時間を一律に決めずに、従業員が菌床の状態を確認して判断するようにした結果、菌床シイタケの収量が月間目標値に対し約20%アップしました。

・従業員6人中女性が3人、多様な人材が2人となっていることから、様々な従業員が働きやすいよう希望休をとれるシフト制の導入や、トイレの男女別水洗式への改修を実施しました。

・研修生の指導は、作業を6つのパートに分け、性格や個性、得意・不得意を見定め、可能なパートから取り組ませ、実演して教える等の工夫をしながら指導しています。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT 栽培担当者(2年)	栽培担当者、栽培責任者 (3～4年) (5～9年)	生産現場全体の管理者 (10年～)
・基本的な栽培・管理の技術とノウハウの習得	・市場動向を見極め、利益を考えて栽培するノウハウの習得 ・後輩への栽培・管理の指導	・年間生産計画、販売計画の作成 ・従業員の採用、育成、作業状況管理